

コミわか会長表彰について

現在、若槻東条県道荒瀬原線沿い(若槻大通り)蚊里田八幡宮入口の道路沿いに、平成2年に設置されたモニュメントがありますが、このモニュメントは、田中栄作氏作の「歩く人」(第18回長野市野外彫刻賞受賞作品)です。ステンレスの角柱を人の形に交差させて並べたシンプルな彫刻で、5人が並んで歩いている形をしています。この地域には蚊里田神社があり、また田畑もありますので、社殿の千木や田に立てる稲架の形にも通ずるようにと考えて作られたものです。この地が神の恵みを受けて、豊かに栄えることをも願って設置されました。



設置後、近所にお住まいの松澤繁・つね子さん夫婦が草の生い茂るのを見かね、草刈りや花を植え始めました。毎年芝桜、ジャーマンアイリス、ヒマワリ、マリーゴールド、菊など10種類の花が春から秋まで咲き誇ってきました。ご主人が他界された後も奥様が一人で管理して来ましたが、2年程前に体調を崩され療養中です。過去には、広報ながのや長野市

民新聞にも紹介されました。

永年、個人活動として環境保全にご尽力された功績に対し、規約に従い若槻地区住民自治協議会として、感謝の意を込めて表彰状と記念品を贈呈いたします。



「血糖値を下げる運動講座」を開催しました



9月29日(火)、コミュニティセンター体育館にて「血糖値を下げる運動講座」が行われました。保健師の方からは定期的な健康診断の必要性を、理学療法士の方からは、糖を取り込むことができ血糖値が下がるという点でキーポイントとなる筋肉について講演していただきました。後半には、テレビを見ながらでも実践できる筋力アップ方法をご指導いただき、皆で実践してみました。参加者の中には90代の方もおられ、はつらつと運動され

ていました。この運動は糖尿病予防だけでなく、良い姿勢を保持することで若々しくいられたり、腰痛の予防にも効果があるとのことでした。もしまた機会がありましたら皆様も参加してみたいでしょうか。
(健康部会)



区長部視察研修報告

10月22日(木)、区長部21名にて長野市千曲川沿いの台風19号による被害状況と復興の状況を視察しました。

最初に堤防決壊による浸水被害に遭われた長沼地区を視察しました。決壊した場所には市営長沼体育館が被害を受けたそのままの状況で残っており、鉄筋さえも曲がった現場は当時のすさまじさが伝わってきます。住宅のある地域は新築した家もありますが多くの家は道半ば、手付かずの家も目立ちました。川幅は広く感じましたがもう少し深さがあった



らと感じました。

次に浸水被害のあった松代地区を経由し篠ノ井塩崎の越水地点を視察しました。川がちょうどカーブした地点で越水が発生したと思われる。川がカーブしている場所は流れる都度に土砂が堆積し長い間には浅くなる(住民の話)とのこと。事前に何か手を打っていただければと感じました。

今回の研修を終えて思うことは、災害時における人の行動は逃げることのみ。日頃から災害を想定した整備、人々の防災意識の向上を図ることの大切さを学びました。
(区長部)

環境関連施設見学会の実施

10月12日(月)、区長部副区長はじめ総勢18名による環境関連施設見学会(「ながの環境エネルギーセンター」「資源再生センター」の2施設)を実施しました。ゴミ処理施設を見学することにより処理工程を理解し、環境問題への関心や理解を深め、日常生活におけるゴミの分別や減量を推進することを目的としています。



見学するまでは、処理施設は匂いや汚いというイメージでしたが、実際は建物全体がクリーンで衛生・環境面で優れていました。再生センターでの分別作業は、多くの労力がかけられており、私たちもリサイクル品を出す時は、細かく丁寧に分別しなければと再認識しました。
(区長部)

